

進路だよい



秋田県立秋田きらり支援学校
第7号
平成29年12月22日発行

現場実習評価票から見えてくるもの

高等部では、前期(6~7月)と後期(11月)の2回にわたり現場実習を実施しました。その際、事業所に評価票の記入をお願いしています。評価票には「一般就労・就労継続支援A型」、「就労継続支援B型」、「生活介護」があり、各項目についてA~Dで評価します。また、「生活介護」については、項目ごとにすべて文章で記述する評価票もあります。就労継続支援B型の評価票の一部を紹介します。

現場実習評価票

- Aー本人のセールスポイントとして評価できる
Bー普通、そのままでも特に課題とはならない
Cー実習に支障はないがもう少し努力してほしい
Dー実習の際に支障となり、改善が必要である

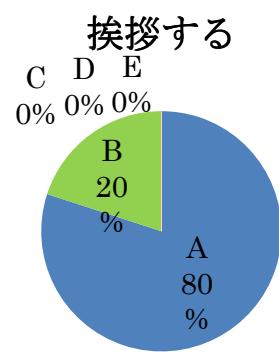
	評価項目	A	B	C	D	特記事項
	～ 略 ～					
社会性・態度	自分からあいさつをする。					
	返事をはっきりとする。					
	適切な言葉遣いをする。					
	他人の迷惑になることはしない。					
	迷惑をかけたり失敗したりしたときに謝る。					
	集団から逸脱しないで行動する。					
	周囲の人との会話に参加する。					

前期の評価票を集計しました。

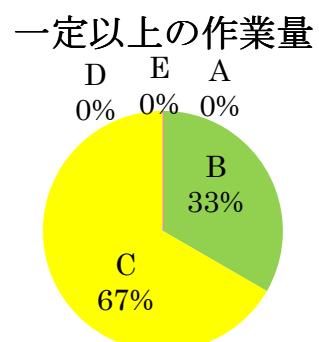
「自分から挨拶する」という項目はA評価(セールスポイントとして評価できる)が、生活介護では80%(グラフ1)、就労継続支援B型では67%を占めています。日頃から、生活の中で継続して取り組んでいる成果だと感じます。

就労継続支援B型は、「働く」という視点で評価されます。「一定以上の作業量」という項目はC評価(もう少し努力してほしい)が67%を占めています(グラフ2)。

他にC評価が15%以上の項目は次のとおりです。「私語・よそ見をしない」「働くことの意義を理解している」「適切な言葉遣い」等です。事業所は集中して作業ができる求めています。また、目上の人への正しい言葉遣いは社会生活を送る上での基本です。実習中は職員の方や利用者さん達が気さくに話しかけてくれるのでとてもありがたいのですが、慣れすぎずに実習に臨むことが大事です。



(グラフ1)



(グラフ2)

このような客観的な評価は、私たちの取り組むべきことを明確にします。

(進路指導主事 宮野)

★裏面には学部ごとの記事が連載されています★

小学部は「周囲との関わり」について、中学部は「報酬をもらえる福祉サービスについて教えてほしい」、高等部は「基準該当障害福祉サービス事業所をご存じですか?」です。他の学部の記事が見たい方には差し上げますので、学級担任までお知らせ下さい。ホームページ、学校の進路コーナーの掲示でも御覧いただけます。

「事業所関係者と語り合う会」が行われました

12月8日（金）「事業所関係者と語り合う会」が開かれました。当日は10事業所が来校し、保護者や職員約40名が参加しました。各ブースに分かれて事業所職員から説明を聞き、具体的な内容を質問するなど、活発な話し合いが行われました。参加した保護者は、福祉サービスや事業所への理解を深め、子どもの進路選択に生かせる情報を得ることができたのではないでしょうか。

学校生活は12年間ですが、卒業後の生活はさらに長く続いていきます。進路先の事業所には「お世話になる」という気持ちから一歩進んで、事業所に「協力する」、事業所を「育てていく」と気持ちを持ち、みんなで卒業後の生活を支えていきたいものです。



○アンケートから ~御協力ありがとうございました~

具体的な話を聞くことができた。

「何を聞いたらいいか」とか「何が分かっていないのか」最初はとまどったが、思い切って参加してよかったです。（高等部保護者）

色々な施設の話を他の親御さんと一緒に聞くことで、自分だけの意見だけでなく他の方の意見・要望なども伝えられてよかったです。

（小学部保護者）

来年度は、かがやきの丘大体育館を会場に、同じような形式で県央地区合同説明会が行われる予定です。今回の会よりも大きな規模で行われ、参加事業所も多くなります。ぜひご参加ください。

小学部からの進路学習

その6 「周囲との関わり」



実習先の方

環境が変わっても、他の利用者と一緒に楽しく穏やかに、いろいろな活動ができるといいですね。

いろいろな人と関わることを楽しもう

クリスマスやお正月などの行事では、家族以外にも親戚や地域の人と過ごす機会をもちましょう。慣れない場所やいろいろな人とでも、気持ちを安定させて過ごせるようになるといいですね。



会話のマナーを意識しよう

周囲と上手くコミュニケーションするためには、周りの人が不快に感じないように礼儀やマナーを身に付けることも大切です。例えば、相手の話をきちんと聞けたり、目上の人に丁寧な言葉で話したりすると、よい関わりにつながります。親戚との会話や電話の受け答えなどは、家庭でも言葉遣いを学ぶよい機会となります。



興味・関心を広げよう！

いろいろなことを経験し、好きなことを増やしましょう。例えば、いつもと違う音楽を聴いてみたり、初めてのこと挑戦してみたりするのもいいですね。

トランプやカルタなどの、人と関わる遊びやルールのある遊びもお勧めです。

Q & A

Q. 通所、入所したい施設に空きがない場合はどうしているのですか。

A. 通所の場合、1つの事業所を5日間利用したいという希望があっても、空き状況等により利用できる日数が限られる場合があります。卒業生の中には複数の事業所を併用している人もいます。センター上で卒業時希望の入所施設に空きがない場合は、センターと相談しながら進めています。